

議会だより もろっか

平成29年8月



平成
29年 第154号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



もくじ

平成29年度一般会計補正予算	2
一般質問	3~4
第7回諸塚村子ども議会	5
議会活動報告	6

平成29年第2回諸塚村議会定例会(6月16日開会) 平成29年度一般会計補正予算

4千8百万円の補正額 総額31億3千1百万円

主な補正事項

- 〔歳入〕**
- ・ 森林整備加速化・林業再生事業補助金 ……………10,600千円
 - ・ 魅力ある観光地づくり推進支援事業……………2,337千円
 - ・ 分収造林受託事業収入……………9,700千円
 - ・ 森林郷創生基金繰入金……………25,000千円
- 〔歳出〕**
- 〔企画〕**
- ・ 魅力ある観光地づくり推進支援事業(池ノ窪ログハウス改修)……………4,431千円
 - ・ 宮崎市販売施設改修工事(海幸山幸)……………4,500千円
- 〔産業〕**
- ・ 高性能林業機械購入補助事業(グループ付トラック)……………10,600千円
 - ・ 分収造林委託事業(作業道開設、保育間伐等)……………9,700千円
- 〔建設〕**
- ・ 道路維持補修工事……………8,000千円



九州中央自動車道建設促進沿線協議会協議会 総会・決起大会



入郷地域開発期成同盟会 定期総会



耳川広域森林組合諸塚支所との研修会・意見交換



入郷地域開発期成同盟会 要望活動

一般質問

北海道和寒町との姉妹都市の締結について



山本 利夫 議員

今回三名の議員が質問をしました。

問 山本議員 和寒町は玉入れ競技発祥の地であり、九州選手権大会は今年で十八回目になる。毎年役員と選手は全国大会、九州大会と相互に訪問しあっている。日本の北と南であり、今後、姉妹都市として繋がりや深くして、人的交流や特産品販売の促進等につなげていくことはできないか伺う。

答 西川村長 九州大会は九州各県から多くの参加者があり、本村の活性化につながる。

がつている。県内の各市町村も姉妹都市、友好都市等の名称で交流関係を築いている。交流事業を実施する場合同様の効果も期待できるか、またお互いの自治体にとって大きな負担とならないようなことが望ましいと思う。当面は双方の玉入れ協会関係者での交流を継続して頂きながら今後庁内関係課、村内関係機関と協議、検討したい。

問 山本議員 小中学生が交流するならば、よい経験になると思う。また特産品についても、相互に販売しあうようにするとよいと思う。

答 西川村長 九州玉入れ大会を大

事に継続し、提案の方向性で具体化されるよう詰めてみたいと思う。



西川村長

中央公民館の駐車場整備について

問 山本議員 大きな行事が行われるたびに、県道路肩に多くの駐車を余儀なくされている。現地の状況として簡単ではないが、検討を開始する時期に考えているのではないか、どのよう

に考えるか伺う。

答 西川村長 必要性を痛感している。中央公民館周辺の立地条件を考えると現実的には難しいのではないかと考える。中央公民館は築五十四年になる。建替えは村の将来の姿を見据えながら、他の施設との調整も考慮しながら検討していきたいと思う。

中央公民館の駐車場対策について



黒木 重人 議員

問 黒木議員 平成24年12月の定例議会で、中央公民館西側回廊と県道の空間利用も

提案をしたが、5年を経過した今、何の進展もない。公のイベント開催時には、イベント終了まで、警備員や誘導員をおく配慮が必要ではないか。一つの提案であるが、民俗資料館横から対岸に橋梁を建設し、対岸の左岸側に駐車場を建設する考えはないか伺う。

答 西川村長 公民館西側回廊と県道の空間利用について、県道歩道に接する施設のため、県との接続協議が必要となる。整備するとしても、それほど多くの駐車スペースの確保ができないし、中央公民館本体との構造問題や多額の費用などで難しいと考える。

橋梁をかけて対岸に駐車場を整備する提案であるが、県との河川協議や

平成29年度 第7回「諸塚村子ども議会」開催!

子ども議会開催の目的

◇子どもたちが日常生活の中で気付いた学校や地域の問題について、「小さな実現可能な子どもたちのための子ども議会へ!」の考えにより、子どもたち(学校)が村づくりの鍵になる視点から、発展的な取組にしていけることも大事なことである。元気な村づくりに子どもたちの力は欠かせないものであり、子どもたちが主体的に関わることでできる、子どもたち自信が喜びを感じることができる一連の活動にしていく。

◇将来の諸塚「村づくり」について、村をよくするための思いや願いを発表し、子どもの豊かな発想を、これからの村づくりの長期構想に活かしていく。

◇子ども議会の運営や村議会の見学・傍聴等を通して、議会制度や民主的な政治について理解を深める。

第7回 諸塚村子ども議会 議事日程(第1)

平成29年7月27日(木) 午前9時 開議

1. 開 会 2. 議事日程

司会進行 諸塚中学校 {甲斐 秀嘉}
日程第1 一般提案(7名)

提案順	氏 名	提案のキーワード(提案要旨については別紙)	備 考
1諸中	甲斐 想奈	「諸塚PR大作戦の継続について」	
2諸小	黒木 美尋	「あいさつ看板で諸塚のあいさつをもっと良く」	
3諸小	二瓶 幸大	「伝統を伝えるポスターを作りたい」	
4荒小	甲斐 千大	「神楽を受け継いでいくために僕にできること~舞手をふやす方法を考える~」	
5七小	内村 心実	「植樹体験ツアーの企画 ~モザイク林のすばらしさを広めよう~」	
6七小	岩本 朋子	「諸塚が誇る水を全国へ ~おいしい水の販売~」	
7諸中	川崎 楓	「MOROTSUKA未来予想図Ⅲ」	

日程第2 意見発表(4名)

発表順	氏 名	発表内容	備 考
1諸小	若本 陸玖	「続いてほしい団七おどり」	
2荒小	西田 慎之介	「大好きな諸塚の森林を存続させるために~FSC認証について考える~」	
3七小	甲斐 桜	「夢は諸塚をもっと明るくすること~私にしかできないことで喜びを届ける~」	
4諸中	福田 翔	「MOROTSUKAの自然を守るために」	

3. 閉 会

村内学校の小中一貫校設立について

黒木議員

問 昨年、学校あり方検討会が村内各小学校区で開催されている。突然の開催で戸惑いもあったが、ようやく動き始めたかと思った。子どもの教育に待ったはかけられない。学校あり方検討会の開催は、本村の小中一貫校設立に向けた第一歩と解釈してよいのか伺う。

答 西川村長
学校あり方検討会は、平成26年度から3年

間をかけて一応の結論を出すというところで取り組んできた。これらの検討会は、小中一貫校の設立を前提として実施したわけではない。今回の検討会を通じて、保護者ばかりでなく、多くの村民に学校の現状や、今後の見通しについての認識を深めてもらったこと、そして地域としても何とかしなければいけないという危機感を持ってもらうことは大きな収穫であったと思う。

問 学校の統廃合については、地域とあうんの呼吸が大切であると考えているので、これからは保護者や地域住民と一緒に考えていきたいと思う。

答 黒木議員
なるべく子供さんがいる先生たちを諸塚村に赴任してもらおうという今までどおりの活動について、教育委員会の考え方はどうなのか。



答 教育長
村長からも私からも毎回、子供さんのいる先生をお願いしている。県内でもよりすぐりの先生方、しかも子供さんのいる先生方、最近は学年まで指定して、今年1年生になる子供さんのいる先生をお願いするというような形で県教委にお願いしている。そういった取り組みが必要であろうと思うし、言い続けていきたいと思う。

中央公民館の駐車場について



岩本 國和 議員

問 岩本議員
中央公民館で大きな催しがあるときは、駐車場に車が入りきれなくなり、県道の路肩の空きスペースに駐車する状況である。今後、主催者側はシャトルバスを運行するとか、参加者に対して配慮が必要と思う。

答 西川村長
シャトルバスの運行も対策の一つと考えるが、バスの臨時便を運行する方法など含めて検討する。

議会傍聴してみませんか?
6月16日(金)議会には23人の方に傍聴いただきました。
次回の定例会は9月6日(水)開会予定です。
心よりお待ちしております。
お問い合わせ: 議会事務局
TEL 65-1130

したい。
今回、3議員から中央公民館の駐車場整備を含めて色々提案があつた。これはもう少し早く急いで対策をとれというお叱り、叱咤激励であると捉えているので、そのような意見に沿って進めていく覚悟である。

議会活動報告

月	日	内 容	場 所
4	26	第2回 臨時議会	議 場
5	8	東白杵郡議長会総会(議長)	日 向 市
	8	入郷地域開発期成同盟会議長・局長会	日 向 市
	12	延岡地区村人会	延 岡 市
	17	入郷地域開発期成同盟会役員会	椎 葉 村
	19	日向市・東白杵郡町村議長連絡会総会	日 向 市
	26	九州中央自動車道沿線議会期成会理事会	五ヶ瀬町
	27	宮崎地区村人会	宮 崎 市
	31	全国会主催正・副議長研修会(議長)	東 京 都
	31	県選出国會議員との懇談会(議長)	東 京 都
6	6	県町村議会議長会臨時総会	宮 崎 市
	8	県椎草品評会(全議員)	都 城 市
	16	第2回定例議会	議 場
	21	塚原村政座談会	塚 原
	23	川内村政座談会	川 内
	25	九州玉入れ選手権大会	村 体 育 館
	26	穂白尾村政座談会	穂 白 尾
	29	入郷地域開発期成同盟会総会(全議員)	美 郷 町
	30	七ツ山村政座談会	七 ツ 山

月	日	内 容	場 所
7	3	荒谷村政座談会	荒 谷
	6	日向・東白杵広域連合議会(議長・中田議員)	日 向 市
	7	南川村政座談会	南 川
	10	九州中央自動車道沿線議会期成会総会(全議員)	高千穂町
	10	飯干村政座談会	飯 干
	12	入郷地域開発期成同盟会要望活動(議長)	日向・延岡・西都方面
	12	黒葛原村政座談会	黒 葛 原
	14	松の平村政座談会	松 の 平
	19	八重の平村政座談会	八 重 の 平
	21	町村議会運営委員会正副委員長研修会	宮 崎 市
7	21	高速道建設促進宮崎期成同盟会総会(議長)	宮 崎 市
	21	第40回 みすず会総会	宮 崎 市
	21	立岩村政座談会	立 岩
	26	小原井村政座談会	小 原 井
	27	子ども議会(第7回)	議 場
	27	東白杵郡町村議会議員研修会(全議員)	日 向 市
	28	諸塚村政座談会	諸 塚
	31	家代村政座談会	家 代

随 想

「自然災害に強く、収益の上がる山作りとは」

黒木 重人

「平成29年7月九州北部豪雨」また九州が大水害に襲われました。

林業で名高い日田地区、東峰村では山腹崩壊により杉材と濁流が恐ろしい破壊力で住宅や鉄橋を押し流し、河川を堰き止め大惨事となりました。

犠牲になられた方々に心からご冥福を申し上げ、行方不明の方々の早急の発見と避難所暮らしの皆様にも一日も早い復興をただただ願うものです。

「今まで経験した事のない」と言う表現が最近のメディアで頻繁に使われるようになりました。気象庁も予測できない程の地震の揺れやゲリラ豪雨に備える対策が急がれる今日、その地域の地層や自然条件にも大きく影響するであろう杉の植林等の改善策が急務ではないでしょうか。

災害に強く、収益の上がる山作りを再認識し、真剣に取組時期が来ていると思います。

全国各地に広がるバイオマス発電に伴う杉植林地の全伐、労働者不足により大型機械による短時間で効率良い伐採搬出作業、急傾斜地に大型重機を搬入して搬出道路を造り手際よく作業が進められています。

幸いにして諸塚村では伐採、植林のバランスが良く「切つたら植える」の連携が整ってはいますが、これから先の山づくりについて、モザイク林層をふもとの河川沿いや生活道路沿い、集落に近い山林には意図的に広葉樹林を増やし、現在残っている除地や支障木の管理を含め、災害に強く人間が住み、見ても、山に入っても安心安全で花の咲くモザイク林層を未来ある子供達の為に少しずつ残していきたいと思っています。

編 集 後 記

昨年は、熊本・大分の大地震。今年は「九州北部豪雨」の大水害で多くの尊い命が失われています。改めて被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、暑い日が続いていますが、皆さん熱中症対策は万全でしょうか。備えあれば憂いなしとばかりもいなくなってきた昨今ですが、心構えだけはしっかりしておきたいものです。

ご愛読をよろしくお祈りいたします。

(編集委員) 田原尚美 堀 英博 岩本國和 山本利夫